

平成24年度決算に係る
定期監査調書

平成25年4月

農林水産部 水産試験場

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	1頁
6	主な事業に関する調べ	2頁
7	収入証紙取扱総額調べ	4頁
8	収入事務処理状況調べ	4頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	5頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	5頁
11	不納欠損額調べ	5頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	5頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	8頁
14	財産に関する調べ	9頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	13頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	13頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	15頁
18-2	船舶（公有財産の船舶を含む。）の管理状況	15頁
19	寄附物件の受納状況調べ	15頁
20	備品の処分状況調べ	15頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	15頁
22	事業別予算執行状況調べ	15頁
23	生産物（品）に関する調べ	16頁
24	試験研究調査事業別実施状況調べ	16頁
25	船舶運航調べ	18頁
26	用船の状況調べ	19頁
○	意見、要望等	19頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
水産試験場	管理担当	人事管理、予算・決算事務
	漁場開発室	海洋環境、漁労及び水産資源等についての試験研究及び調査に関すること。
	海洋資源室	"
	試験船第一鳥取丸	"

4 職員の定員、現員調べ

（平成25年4月1日現在）

種 別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	24.4.1 現 在	当 該 年 度	24.4.1 現 在	当 該 年 度	24.4.1 現 在	当 該 年 度	24.4.1 現 在	
定 員	1	1	17	17	0	0	18	18	
現 員	() 1	() 1	() 17	() 17	() 0	() 0	() 18	() 18	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	2	2	1	1	4	4	事務 1 名、運転士 1 名 調査・研究補助 2 名

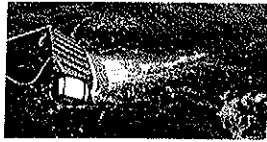
5 役付職員の調べ

（平成25年4月1日現在）

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
場 長	下山 俊一	1		
課長補佐	大東 道雄	1		出納員
漁場開発室長	石原 幸雄	2		勤務期間：7年
海洋資源室長	山田 英明	1		
船長（第一鳥取丸）	森脇 誠	2		
機関長（第一鳥取丸）	古田 栄	5		

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>浮魚資源変動調査</p> <p>決算見込額 11,602千円(2,275)</p> <p>※()内は当該試験に係る額</p> <p>(財源内訳) 一般財源 4,843千円</p> <p>その他 6,759千円</p>	<p>マアジ・マイワシ資源の変動を予測するための仔稚魚採集調査について</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本県の漁業生産は境港のまき網漁業によって水揚げされる、アジ、サバ、イワシ類などの海の表面を泳ぐ「浮魚(うきうお)」に依存するところが大きい。この浮魚資源は、周期的に大きく変動するため漁業者、流通・加工業者等は、水揚量・魚種等に応じ臨機応変な対応を迫られている。これら関係者に浮魚資源の変動情報を提供するとともに、資源を守りながら安定的に漁獲していく上で必要な資源管理方策を提言するために市場での水揚物の調査や試験船第一鳥取丸を用いた洋上調査などを実施した。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>マアジ加入量(生物資源の新規増加量)調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一鳥取丸により、採集用ひき網(中層トロール網)を用いてマアジ幼魚(約4cm)を採集し、本年の幼魚の加入量の予測推定を行った。国の水産総合研究センター(西海区・日本海区水産研究所)及び島根県と共同で実施した。 <p>マイワシ仔魚調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近年、増加の兆候がみえるマイワシ資源の動向を把握するための調査の予備的調査として、第一鳥取丸により採集用ひき網(ニューストーンネット)を用いたマイワシ仔魚(約2cm)の採集を本年度初めて実施した。 <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>マアジ加入量調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ より精度の高い予測を行うために調査点位置の見直しを行った。 <p>マイワシ仔魚調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査における適切な地点および時期を検討するための調査として、4月に隠岐海峡、5月はさらに広域的に実施した。 ・ 東シナ海から日本海沿岸を流れる対馬暖流域における広域的なマイワシ資源の動向を把握するために、マイワシ検討会を開催し各機関の連携を図ることとした。(参画機関:水産総合研究センター(中央・西海区・日本海区水産研究所)、島根県、島根県:年2回) <p>ウ 成果</p> <p>マアジ加入量調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マアジ幼魚は昨年より多いが平年よりは少ないと判断され、秋以降に昨年より多くマアジが水揚げされると予測された。7月に公表するとともに境港地区で漁業者、流通・加工業者等を対象に報告会を開催した。 <p>マイワシ仔魚調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月および5月調査においてマイワシの仔魚が確認された。特に4月調査は5月調査と比べて調査点が少なかったものの、5月調査より多くの地点でマイワシ仔魚が採集され、隠岐海峡周辺で産卵していること及び調査時期は4月からが適当であることがわかった。 ・ 取り組みや、資源評価手法の開発として必要性が認められ、平成25年度から当該調査は水産庁からの受託事業(資源評価事業)の対象となった。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マイワシ仔魚調査において隠岐海峡周辺が産卵海域であると考えられるが、詳細な産卵海域と移動経路の解明のために、マイワシ仔魚のふ化後日数とそれまでの潮流による移動を計算し産卵場を特定することが必要である。



採集用ひき網
(ニューストーンネット)

網部長さ 約3.5m

事業名	概要
<p>底魚資源変動調査</p> <p>決算見込額 15,585千円(319)</p> <p>※()内は当該試験に係る額</p> <p>(財源内訳)</p> <p>一般財源 10,242千円</p> <p>その他 5,343千円</p>	<p>底魚資源変動調査のうちズワイガニ資源回復のための投棄ガニの実態把握と混獲回避漁具試験について</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ズワイガニ（松葉がに）は本県沖合底びき網漁業の最重要魚種であるが近年の資源の動向から漁獲量の減少が予想され、資源回復のための緊急的な措置が必要となっている。11月～3月（漁期）以外の禁漁期間中も、カレイやハタハタと共に混獲されて海に戻されており、その状況は漁獲量からは把握できず必要な措置を講ずるための支障となっていた。そこで本調査により具体的な混獲実態の把握を図った。 鳥取県が開発した混獲低減のための漁具を漁業者が円滑に導入できるよう国の水産総合研究センターと協働して、より精度の高い漁具への改良と低減効果の実証を図った。（平成23、24年の2ヵ年：県内の沖合底引き網漁船による試験） <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年4月より鳥取県籍船28隻中13隻を選定し、ズワイガニの混獲投棄量を報告するよう依頼した。平成24年も調査を継続した。 水産総合研究センター（開発調査センター）が4～5月、9～10月に田後船1隻を用船し混獲回避漁具の改良試験及び実証試験を行うにあたり、技術的な協力を行った。 <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> 水産総合研究センターによる長期間の用船調査を実施した。 混獲回避漁具による資源保護効果を試算した。 混獲回避漁具を普及させるため漁業者説明会（平成24年8月：賀露地区、網代地区、田後地区）を開催した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 改良された漁具を使用することによって、カレイやハタハタを漁獲する9～10月、4～5月に混獲されるズワイガニを約70%海中で網から排出させられることが明らかとなった。 24年9月1日～11月5日までの使用網別の投棄尾数を調べたところ、通常使用している8～9.5節の網では22.4～32.6尾であるのに対し、8節の改良網では7.6尾と66～77%軽減されることから、改良網の導入によって資源回復が期待できることが分かった。 改良漁具の混獲軽減の試験結果と漁網改良にかかる経費の行政支援策によって、24年度中に鳥取沖底船のうち網代地区と賀露地区の全船が改良網を導入することとなった。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ズワイガニの資源減少に伴い来漁期には漁獲量の減少が予想される。漁業者はズワイガニ減少に対する危機感を感じており保護の重要性は認識している。一方で、田後船については混獲回避漁具の使用によりカレイの漁獲も減少することに不安があり導入を躊躇しているため、当該改良漁具でもカレイの大幅な漁獲の減少がないこと、ズワイの資源保護につながることを、及び改良網導入のための行政支援策も制度化されていることを納得してもらい、一日でも早い改良漁具導入を実現すべきである。

7 収入証紙取扱費調べ
該当なし

8 収入事務処理状況調べ
(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料

(平成24年12月31日現在) (単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	細節							
行政財産 使用料	行政財産 使用料	4	136,745	136,745	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
	電柱用地使用料ほか 駐車場使用料	319	319,000	319,000	0	0	鳥取県公有財産事務取扱規則	
	計(節)	323	455,745	455,745	0	0	公有財産事務取扱要領	
	目計	323	455,745	455,745	0	0		
	合計	323	455,745	455,745	0	0		

(3) 手数料
該当なし

(4) 財産収入
該当なし

(5) 諸収入

(平成24年12月31日現在) (単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
受託事業 収入	水産総合研究セン ター受託事業収入		4	10,551,000	10,551,000	0	0		
		計(節)	4	10,551,000	10,551,000	0	0		
雑入	雑入	目計	4	10,551,000	10,551,000	0	0		
		広告掲載料	2	24,000	24,000	0	0		
		鳥取県無線漁業協同組合光熱水費	24	333,838	333,838	0	0		
		計(節)	26	357,838	357,838	0	0		
		目計	26	357,838	357,838	0	0		
		合計	30	10,908,838	10,908,838	0	0		

(6) 現金の取扱状況
該当なし

9 収入未済額調べ
該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ
該当なし

11 不納欠損額調べ
該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ
(1) 負担金

該当なし
(2) 補助金
該当なし

(3) 交付金
該当なし

(4) 委託料

(平成24年12月31日現在)(単位:円)

予算科目 (目)	国 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付年月日) 契約形態	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約年月日 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
水産業振興費	単県	秋イカ漁場探索調査委託料	鳥取県小型いかつり漁業協会	1,170,000	(24.10.9)	24.11.1 ~24.12.30	24.10.3 (免除)	24.11.21	精	24.12.4	1,170,000	
目計				1,170,000			随	24.11.27				
水産試験場費	単県	冷暖房設備保守点検	三和商事(株)	2,661,750	(24.4.1)	24.4.1 ~27.3.31	24.3.28 (免除)	24.6.25 他	精	24.6.29 他	630,000	24~27の債務負担
水産試験場費	単県	水産海洋情報処理システム保守管理	応用技術(株)	714,000	(24.4.1)	24.4.1 ~25.3.31	24.3.23 (免除)	24.6.25 他	精			製作者以外 の保守は不可
水産試験場費	単県	人工衛星画像受信装置保守管理	日本船用エレクトロニクス(株)	955,500	(24.4.1)	24.4.1 ~25.3.31	24.3.19 (免除)		精			製作者以外 の保守は不可
水産試験場費	単県	魚類粗脂肪測定	(財)岡山県健康づくり財団	423,000	(24.9.6)	24.9.6 ~24.12.27	24.9.3 (免除)	24.12.19	精	24.12.25	403,200	
水産試験場費	単県	「第一鳥取丸」機関監視装置保守点検	(株)ジェー・アール・シー・エス	299,250	(25.1.10)	25.1.10 ~25.3.29	25.1.10 (免除)		精			予定
							随					製作者以外 の保守は不可

予算科目 (目)	国 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約年月日 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
水産試験場費	単県	LEDいかつ り試験操業	鳥取県漁業協 同組合境港支 所	単価契約 @90,000/1回	契約年月日 契約額	契約 期間	24.5.10	24.7.25	精	24.6.22 他	360,000	調査打ち切り のため減額
水産試験場費	単県	中海水産資源 生産力回復調	個人	単価契約 @30,000/1回	単価契約 @30,000/1回	24.8.16 ~25.3.31	(免除)	24.7.25	精	24.9.7 他	180,000	新規
水産試験場費	単県	潮流情報自動 提供システム 保守管理	個人	374,580	(2441) 351,480	24.4.1 ~25.3.31	24.3.26 (免除)		精			新規 製作者以外 の保守は不可
水産試験場費	単県	作業環境測定	(社)鳥取県 産業環境協会	266,490	(2441) 189,000	24.4.1 ~25.3.31	24.3.27 (免除)		精			
予定価格が20万 円未満のもの					()	~	随				703,500	
目計											2,276,700	
合計											3,446,700	

13 工事請負費調べ

(平成24年12月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単果 の別	工 事 名	当 初 契 約				入札等年月日 (契約保証金 納付等年月日)	請 負 人	支 出 状 況			更 (解除) の理由 ・ 内容	備 考		
			(起工年月日) 設計額	(契約年月日) 契約額	工 期	工 期			支 出 区 分	年 月 日	金 額			実 成 年 月 日	検 査 年 月 日
					(最終)										
水産試験場 費	単果	「第一鳥取丸」 通常保守整備工 事	(24.10.1) 27,466,425 (25.1.25) 34,343,295	(24.11.6) 22,050,000 (25.1.29) 27,569,850	24.11.6 ~25.1.31	24.10.31 (免除) 指	(有) 福島 造船鉄工 所	完			追加工事が発生したため				
目 計															
合 計															

14 財産に関する調べ
 (1) 公有財産
 了 土地

(平成24年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考		
			面積 (㎡)	価額 (円)	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)		価額 (円)	
行政 財産		境港市竹内団地 107	5,025.22	99,499,356			H			H	5,025.22	99,499,356	
計			5,025.22	99,499,356							5,025.22	99,499,356	
普通 財産	(該当なし)						H						
計			0	0			H				0	0	
合計			5,025.22	99,499,356							5,025.22	99,499,356	

イ 建物

(平成24年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考		
			面積 (㎡)	価額 (円)	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)		価額 (円)	
行政 財産	庁舎	境港市竹内団地 107	1,395.90	202,152,530			H			H	1,395.90	202,152,530	
	漁具倉庫	境港市竹内団地 107	340.00	19,597,250			H			H	340.00	19,597,250	
	車庫	境港市竹内団地 107	42.00	3,681,288			H			H	42.00	3,681,288	
計			1,777.9	225,431,068							1,777.9	225,431,068	
普通 財産	(該当なし)		0	0			H			H			
計			0	0			H			H	0	0	
合計			1,777.9	225,431,068							1,777.9	225,431,068	

ウ 山林
該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

(平成24年12月31日現在)

区分	前年度末		本年度中の増減(△)			差引	備考
	取得年月日	数量	年月日	数量	取得又は処分価格		
船舶	H9.2.28	(t) 199.00	-	-	-	(t) 199.00	沖合漁業部 第一鳥取丸
合計		199.00				199.00	

*+9

オ 物権
該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)
(ア) 異動状況

(平成24年12月31日現在)

区分	前年度末	本年度中		差引	備考
		増	減		
特許権	件 1	件 0	件 0	件 1	
合計	1	0	0	1	

(イ) 出願及び登録の状況

区分	名称	出願日	登録日	活用の有無
特許権	選別機能付き曳き網	H15.3.31	H19.3.9	無
出願中	0件	登録	1件	

(ウ) 活用の状況
該当なし

キ 有価証券
該当なし

(2) 金券類の受払状況
ア 金券の受払状況

(平成24年12月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		差引	備考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はがき	円 31,950	円 45,000	円 32,990	円 43,960	
収入印紙	0	26,050	26,050	0	
合計	31,950	71,050	59,040	43,960	

イ タクシーチケットの受払状況
該当なし

(3) 債 権

(平成24年12月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				差 引		備 考
	金 額	件 数	増		減		金 額	件 数	
			金 額	件 数	金 額	件 数			
(行政財産使用料)	円 255,786	3	円 0	0	円 135,873	1	119,913	2	
鉄塔用地使用料	230,826	1	0	0	115,413	0	115,413	1	
電柱用地使用料	9,000	1	0	0	4,500	0	4,500	1	
庁舎屋上使用料	15,960	1	0	0	15,960	1	0	0	
(財産貸付収入)	644,140	1	0	0	92,020	0	552,120	1	
局舎用地貸付料	644,140	1	0	0	92,020	0	552,120	1	
合 計	899,926	4	0	0	227,893	1	672,033	3	

15 財産の貸付け及び使用許可調べ
 (1) 土地及び建物
 了 土地

(平成24年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	所名	
行政財産	事務所用地	境港市竹内団地107	107.00㎡	H21.4.1	H元.9.11	H21.4.1 ～ H31.3.31	丹額・年額 92,020	92,020	境港市竹内団地107 鳥取県無線漁業協同組合		
	鉄塔用地	"	93.00㎡	H21.4.1	H6.4.1	H21.4.1 ～ H26.3.31	丹額・年額 115,413	115,413	"		
	電柱設置用地	"	本柱1本 支線2条	H21.4.1	H6.4.1	H21.4.1 ～ H26.3.31	丹額・年額 4,500	4,500	鳥取市湯所町2丁目258 西日本電信電話(株)鳥取支店		
	監視カメラ電源用地	"	1.058㎡	H24.4.1	H16.11.1	H24.4.1 ～ H25.1.31	丹額・年額 872	872	神戸市中央区新港町12-1 神戸税関	H25.1 撤去	
計											
普通財産(該当なし)								212,805			
計							月額・年額	0			
合計								0			
								212,805			

イ 建物

(平成24年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	アテナ設置	境港市竹内団地107	0.0676 ㎡	H20.3.31	H20.2.12	H20.4.1 ～ H25.3.31	丹藤・年額 15,960	15,960	境港市竹内団地107 鳥取県無線漁業協同組合	
計								15,960		
普通財産	(該当なし)						月額・年額	0		
計								0		
合計								15,960		

(2) 物品

該当なし

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

該当なし

(2) 職員駐車場

了 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	境港市竹内団地107	12.50	1,000
普通財産	(該当なし)		

イ 異動状況
(行政財産)

月別	前月末	当月減		当月増		月末日		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免	5人	0人	5人	0人	うち減免			
4月	39人	5人	0人	5人	0人	39人	0人	35,000円		
5月	39	0	0	0	0	39	0	35,000		
6月	39	0	0	0	0	39	0	35,000		
7月	39	3	0	1	0	37	0	33,000		
8月	37	0	0	2	0	39	0	35,000		
9月	39	0	0	0	0	39	0	35,000		
10月	39	2	0	1	0	38	0	34,000		
11月	38	0	0	0	0	38	0	34,000		
12月	38	0	0	0	0	38	0	34,000		
1月	38					38	0	34,000		
2月								3,000		
3月								3,000		
合計								319,000	319,000円	0円

※鳥取県無線業協同組合の職員使用分(使用者7名、使用区画数3区画)については、4月に12ヶ月分を一括認定しており、全額が収納済。

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

該当なし

18-2 船舶（公有財産の船舶を含む。）の管理状況

（平成24年12月31日現在現在）

船名	トン数	取得 年月日	稼働 日数 日	燃 料		修繕費等 円	左の主な内容 円	定係港又 は船籍港	占用料 円
				消費量 ℓ	金額 円				
第一鳥取丸	199.00	H9.2.28	84	138,530	11,828,742	1,827,010	機関長室O P S 修繕	境港	免除
計			84	138,530	11,828,742	1,827,010	472,500		

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

22 事業別予算執行状況調べ

一般会計：現年

目 名	水産試験場費	
事業名		事業の概要（目的、実績等）
県産魚を美味しく届ける技術開発事業	24	試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
海洋環境変動調査	24	試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
浮魚資源変動調査	6	主な事業に関する調べ に記載
	24	試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
底魚資源変動調査	6	主な事業に関する調べ に記載
	24	試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
中海水産資源生産力回復調査	24	試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
水産情報発信事業	24	試験研究調査事業別実施状況調べ に記載

（平成24年12月31日現在）

2.3 生産物(品)に関する調べ

(平成24年12月31日現在)

生産 部門	品名 種類	生産 計画 数量	生産数量			場内 使用	処 分 数 量						分 類 換	差 引 残	備考			
			前年度か らの繰	生産 購入	計		売 却		目的外使用		廃 棄	計						
							数量	金額	数量	金額		数量				金額		
水産試 験場	スルメイカ	kg	0	kg	38.0	kg	38.0	kg	0	円	kg	0	円	kg	0	円	0	
	ハタハタ	0	0	74.6	74.6	74.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	アカガレイ	0	0	13.2	13.2	13.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	ソウハチ	0	0	0.1	0.1	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	ヒレグロ	0	0	1.0	1.0	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	ズワイ	0	0	117.0	117.0	117.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	マダラ	0	0	17.6	17.6	17.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	マトウダイ	0	0	8.5	8.5	8.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	シロザメ	0	0	4.3	4.3	4.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	ガンギエイ	0	0	5.7	5.7	5.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	アカアマダイ	0	0	0.4	0.4	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	ヨリトフグ	0	0	5.2	5.2	5.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
アンコウ	0	0	20.8	20.8	20.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
計		0	0	306.4	306.4	306.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

※第一鳥取丸試験操業による測定物

2.4 試験研究調査事業別実施状況調べ

(平成24年12月31日現在)

事業名	実施計画 期 間 (予算額) 支出済額	担 当 室	試 験 研 究 調 査 の 目 的	試験研究調査の 成 果 ・ 課 題
県産魚を 美味しく 届ける技 術開発事 業	24年度~25年 度(2ヵ年) 円 (1,044,000) 597,363	漁場開発室	(単) ・モサエビの活魚パック技術の開 発。マイワシの脂質含有量の月別 変動調査(ブランド化を目指した 優位性調査)、ハンディタイプ脂 質測定器のソフト開発を行う。	(成果) マイワシは、5~8月に脂質含有量が 高くなる傾向がみられ、高い個体で16 ~17%であった。 (課題) 2~3月にモサエビの酸素消費量等の 基礎データを収集する必要がある。
海洋環境 変動調査	18年度~ 円 (9,994,000) 5,996,246	漁場開発室	(委、単) ・海洋環境(水温等)の動向を把 握し、漁業者へ迅速な情報提供を 行う。 ・大型クラゲの来遊状況調査及び情 報提供を行い、漁業被害を防止す る。	(成果) 毎月、海洋観測を実施し、海況情報の 提供及び予測を行った。 (課題) 観測データの多彩な解析によって情報 発信や有効活用を強化する必要があ る。
浮魚資源 変動調査	20年度~ 円 (11,602,000) 8,159,429	漁場開発室	(委、単) ・浮魚(アジ、サバ、イワシ類、ク ロマグロ、イカ類)の資源状況を 把握し、資源管理を推進するた めの管理方策検討の資料とする。 ・秋のイカ漁場調査を行う。	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。 (課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。

事業名	実施計画 期 間 (予算額) 支出済額	担 当 室	試 験 研 究 調 査 の 目 的	試験研究調査の 成 果 ・ 課 題
底魚資源 変動調査	20年度～ 円 (15,585,000) 8,700,042	海洋資源室	(補助、委、単) ・底魚(ハタハタ、カレイ類、ズワイガニ、ベニズワイ)の資源状況を把握し、資源管理を推進するための管理方策検討の資料とする。 ・ズワイガニの資源管理のために投棄ガニ(小型、漁期外)を把握する。	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。
				(課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載。
中海水産 資源生産 力回復調 査	24年度～ 円 (1,881,000) 180,000	漁場開発室	(単) ・国交省の中海の浅場造成水域(大崎地先)において、生物調査(マハゼ等の水産資源の育成場としての機能を評価)を実施する。 ・造成浅場を水産資源の生産の場として活用する方策を調査、検討する。	(成果) 造成浅場における水質、出現生物の季節変化等を把握。簡易構造物(竹林礁)を設置した。
				(課題) ネットでの生物採取時に操船技術に左右される部分がある。
水産情報 発信事業	13年度～ 円 (4,153,000) 983,118	漁場開発室	(単) ・漁海況情報(漁模様、水温等)及び試験操業・調査結果をわかりやすく提供する。	(成果) 大型ポスター(月1回)・海洋環境水産資源レポートの発行、漁海況連絡会議等の開催、イカ水揚情報の電話応答案内、沿岸潮流観測ブイの観測データ公開等を行った。
				(課題) より迅速で分かりやすい情報提供に努める。

25 船舶運航調べ

第一鳥取丸

(平成24年12月31日現在)

事業名	出航先	期間		乗船者			備考
		月日～月日	日数	調査員	乗務員	その他	
海洋環境変動調査	第1区	H24. 4. 9～H24. 4. 11	3	1	10	0	
		H24. 4. 24～H24. 4. 25	2	1	9	0	
		H24. 6. 4～H24. 6. 6	3	1	11	0	
		H24. 6. 25～H24. 6. 30	6	1	11	0	
		H24. 7. 23～H24. 7. 24	2	1	11	0	
		H24. 7. 25～H24. 7. 26	2	0	11	0	
		H24. 9. 3～H24. 9. 5	3	1	11	0	
		H24. 9. 26～H24. 9. 27	2	1	10	1	
		H24. 11. 8～H24. 11. 10	3	1	10	0	
		H24. 12. 12～H24. 12. 14	3	1	10	0	
		小計	29	9	104	1	
浮魚資源変動調査	第1区	H24. 4. 16～H24. 4. 17	2	3	11	0	
		H24. 5. 14～H24. 5. 16	3	2	11	0	
		H24. 5. 21～H24. 5. 24	4	1	11	3	
		H24. 5. 28～H24. 5. 29	2	3	11	0	
		H24. 7. 9～H24. 7. 11	3	1	11	0	
		H24. 7. 17～H24. 7. 19	3	1	11	0	
		小計	17	11	66	3	
底魚資源変動調査	第1区	H24. 7. 30～H24. 8. 1	3	1	11	0	
		H24. 8. 6～H24. 8. 7	2	1	11	0	
		H24. 8. 20～H24. 8. 23	4	2	11	0	
		H24. 8. 27～H24. 8. 28	2	1	11	0	
		H24. 9. 10～H24. 9. 12	3	1	11	0	
		H24. 9. 19～H24. 9. 20	2	1	11	0	
		H24. 10. 2～H24. 10. 4	3	1	10	0	
		H24. 10. 9～H24. 10. 10	2	1	10	0	
		H24. 10. 15～H24. 10. 17	3	1	10	0	
		H24. 10. 24～H24. 10. 26	3	0	10	0	
		H24. 11. 20～H24. 11. 20	1	0	10	0	
		H24. 11. 21～H24. 11. 21	1	1	10	0	
H24. 11. 29～H24. 11. 29	1	1	10	0			
		小計	30	12	136	0	
潮流観測ブイ 調査 標識ブイ設置 漁礁ROV調査 水産まつり体験乗船 定期検査のための回航	第1区	H24. 5. 7～H24. 5. 9	3	2	11	2	
		H24. 6. 15～H24. 6. 15	1	1	11	0	
		H24. 7. 3～H24. 7. 4	2	1	11	5	
		H24. 10. 14～H24. 10. 14	1	0	10	0	
		H24. 12. 17～H24. 12. 17	1	0	10	0	
		小計	8	4	53	7	
合計			84	36	359	11	

2.6 用船の状況調べ

(平成24年12月31日現在)

事業名	調査内容	隻数	出航先	借上げ 延日数	金額(円)		備考
					計	使用料内訳	
浮魚資源変動調査	LED漁灯の導入により、省エネによる経営の健全化および操業環境の改善(紫外線、騒音)を図るための調査	2	境港沖	4	360,000	90,000円/日×4日	3t~10t 2隻
計		2		4	360,000		
水産業燃油高騰緊急対策事業	燃油高騰のため出漁困難となっている県内イカ漁業者へ提供する漁場情報調査	13	鳥取市 沖外	13	1,117,000	90,000円/日×13日	3t~10t 13隻
計		13		13	1,117,000		
中海水産資源生産力回復調査	造成された浅場における出現生物の季節変化の把握等実態調査	2	中海鳥取 県側沿岸	12	360,000 (予定)	30,000円/日×12日	3t未満 2隻
計		2		12	360,000		
合計		17		29	1,890,000		

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等
特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等
特になし

